

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	1	Test 1. Part 1 写真描写問題	リスニング力の向上
学年	4年	担当教員	鈴木晴奈	2	Test 1. Part2 応答問題	リスニング力の向上
科目名	English Strategy TOEIC対策Ⅲ	時間数	136単位時間	3	Test 1. Part3 会話問題	リスニング力の向上
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	Test 1. Part4 説明文問題	リスニング力の向上
使用テキスト名	TOEIC L&Rテスト 究極の模試600問+			5	Test 1. Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
補助教材	TOEIC(R)L&Rテスト 英単語 ゼロからスコアが稼げるドリル			6	Test 1. Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
科目概要と科目到達目標 科目到達目標: ListeninngとReadingの模試問題を集中的に学習し、トレーニングによって解法を身に付ける 9月のTOEIC公開テストで700点、11月のTOEIC公開テストで800点をを目指す				7	Test 1. Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				8	Test 1. Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				9	Test 1. Part7 読解問題	リーディング力の向上
				10	Test 1. Part7 読解問題	リーディング力の向上
				11	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				12	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				13	評価	まとめテスト
授業の進め方・学習方法・課題 問題集を使用した実践形式のリーディング問題に慣れることにより得点力の向上を狙う。 繰り返し音声を聞くことにより、音声を記憶する。 ミニテストによる学習進捗状況の確認。 対面授業と遠隔授業の併用実施				14	Test 2. Part 1 写真描写問題	リスニング力の向上
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②TOEIC公式テストスコア20% ③課題提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				15	Test 2. Part2 応答問題	リスニング力の向上
				16	Test 2. Part3 会話問題	リスニング力の向上
				17	Test 2. Part4 説明文問題	リスニング力の向上
				18	Test 2. Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
				19	Test 2. Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
				20	Test 2. Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				21	Test 2. Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				22	Test 2. Part7 読解問題	リーディング力の向上
				23	Test 2. Part7 読解問題	リーディング力の向上
				24	Test 3. Part 1 写真描写問題	リスニング力の向上
実務経験教員の経歴 貿易会社での翻訳業務経験7年 大手英会話教室講師経験あり				25	Test 3. Part2 応答問題	リスニング力の向上
				26	Test 3. Part3 会話問題	リスニング力の向上
				27	Test 3. Part4 説明文問題	リスニング力の向上
				28	Test 3. Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
				29	Test 3. Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
				30	Test 3. Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				31	Test 3. Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				32	Test 3. Part7 読解問題	リーディング力の向上
				33	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				34	評価	まとめテスト

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	1	英検2級総合対策P3～13 出る順で最短合格単熟語EX P3～13	5月受験対策
学年	4年	担当教員	小林、皆川、寺田	2	出る順で最短合格単熟語EX P14～24 リスニング30問	5月受験対策
科目名	English Strategy 英検対策Ⅲ	時間数	136単位時間	3	英検2級過去問題集2015年第1回 解答解説	5月受験対策
開講期間	通年	授業形態	対面授業/オンライン	4	英検2級総合対策P14～24 2級過去問題2019長文解答	5月受験対策
使用テキスト名	2024年度版 英検2級過去問題集			5	2級過去問題集2019年第2回 解答解説 リスニング30問	5月受験対策
補助教材	スタディサプリ TEPPAN単語			6	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング暗唱テスト	5月受験対策
				7	英検2級対策P25～35 2級過去問題2019年第2回長文解説	5月受験対策
				8	短文暗唱テスト8文 単熟語テスト100問	5月受験対策
科目概要と科目到達目標				9	英検2級対策P36～46 2級過去問題集2019年第3回解答	5月受験対策
科目到達目標: ListeningとReadingの模試問題を集中的に学習し、トレーニングによって解法を身に付け準2級取得に向け対策する。				10	短文暗唱テスト出る順で最短合格単熟語EX P25～35解答	10月受験対策
				11	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				12	英検2級総合対策P47～57 2級過去問題集	10月受験対策
				13	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P36～46	10月受験対策
				14	英検2級総合対策P58～68 2級過去問題集2019年第2回	10月受験対策
授業の進め方・学習方法・課題				15	英検2級総合対策P69～79 2級過去問題集	10月受験対策
レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる リスニング対策 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	短文暗唱テスト 出る順で最短合格単熟語EX P47～57解説	10月受験対策
				17	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				18	英検2級総合対策P80～90解答解説 リスニング30問	10月受験対策
				19	英検2級総合対策P91～101 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
				20	TOEIC公開テスト対策	10月受験対策
評価方法・成績評価基準				21	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P58～68	10月受験対策
①英検合格50% ② 定期テスト20% ③ 課題提出率20% ⑤ 授業態度10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニングテスト	1月受験対策
				23	英検2級総合対策P102～112	1月受験対策
				24	英検2級総合対策P113～123 解答解説2級過去問題単語テスト	1月受験対策
				25	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	1月受験対策
				26	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P69～79	1月受験対策
				27	英検2級総合対策P124～134 解答解説	1月受験対策
				28	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				29	英検2級総合対策P135～145解答解説	1月受験対策
				30	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P80～90	1月受験対策
				31	英検2級対策P146～156解答解説 2級過去問題単語テスト	1月受験対策
実務経験教員の経歴				32	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P91～101	1月受験対策
				33	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				34	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P102～112	1月受験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	1	Unit 1: People	Meet people; Ask personal info
学年	4年	担当教員	Mark, Maya, Neil	2		Describe people & occupations; compare
科目名	Speaking II	時間数	170単位時間	3	Unit 2: A day in the Life	Talk about typical day; free time
開講期間	通年	授業形態	対面授業/オンライン	4		Describe special days, hobbies, interests
使用テキスト名	Talk A Intermediate			5		Plan a party (Group work)
補助教材				6	Unit 3: Going Places	Possessions, Travel info, Ask & Give advice
				7		Describe a place & Plan a vacation
				8		Give presentaion about a vacation
科目概要と科目到達目標				9	Review: Vocab & Speaking	Q & A about your Vacation plan!
科目到達目標: Outputにフォーカスを置き、発音、聞き取りを総合的に習い、スピーキング力向上を図る。 自己紹介から始まり最終的には自分の意見を伝えることを到達目標とする。				10	Unit 4: Food	Recipe, menus, ordereing
				11		Talk about diets, Plan a farm or garden
				12		Role play: in a resturant, ordering online
				13	Unit 5: Sports	Activities, favotire sports, compare
				14		Frequency of activity, survey
授業の進め方・学習方法・課題				15	Review: Vocab & Speaking	More role play for activities (Sports or Food)
さまざまなTOPICから自分の意見を考えたうえでグループで発表しながら基本的な形式をマスターする 対面授業と遠隔授業の併用実施				16		Review vocab & Grammar
				17	Test (First five unit test)	Test
				18	Unit 6: Destinations	Past vacations, weekend; asking about places
				19		Fdescribe qan Ancient place; find and share info online
				20	Unti 7: Communication	Personal communication, exchanging info
評価方法・成績評価基準				21		Describe sights, sounds & other sensations
①口頭試験50% ②授業への積極的参加20% ③課題提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	Unti 8: Making Plans	Short term or long term, Predictions or opinions about future
				23		Solve problems; discuss personality
				24	Review: Vocab & Speaking	Group presentation (Introduction)
				25		Give presentaion about the future; Q&A
				26	Unti 9: Types of Clothing	Compare and buy clothes, Role play shopping
				27		Describe and discuss fashion
				28	Unti 10: Lifestyles	Discuss healthy & unhealthy habits
				29		Lifetyles & Happiness
				30	Unti 11: Achievements	Interview for job, Talk about self achievements
				31		Plan for success, write resume (English)
実務経験教員の経歴				32	Review: Vocab & Speaking	Prepare for final test
				33		Role play interview
				34		Vocab & Grammar test

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	1	文型①	文法の基礎
学年	4年	担当教員	皆川/小林/坂上	2	文型②	文法の基礎
科目名	Grammer & Writing II	時間数	68単位時間	3	文型③	文法の基礎
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	文型④	文法の基礎
使用テキスト名	基礎からのジャンプアップノート英文法演習ドリル、とってもやさしい英文法			5	文型⑤	文法の基礎
補助教材				6	時制①	文法の基礎
				7	時制②	文法の基礎
				8	時制③	文法の基礎
科目概要と科目到達目標				9	不定詞・動名詞①	文法の基礎
科目到達目標:基礎的な文法から応用まで、基礎的な文法をマスターしたうえで複雑な文法まで理解・記憶し、英検やTOEICでのスコアアップを目指し、会話においても正確な発話に結びつける。				10	不定詞・動名詞②	文法の基礎
				11	不定詞・動名詞③	文法の基礎
				12	受動態・分詞①	文法の基礎
				13	受動態・分詞②	文法の基礎
				14	評価テスト	評価
授業の進め方・学習方法・課題				15	関係詞①	応用
初級、中級、上級とレベル別のクラス編成をし、復習を兼ねながら文法のベーシックを学ぶ。 基礎力を身に付け、読解やリスニング、発話においても正確性を重視する。 ミニテストによる学習進捗状況の確認。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	関係詞②	応用
				17	比較①	応用
				18	比較②	応用
				19	仮定法①	応用
				20	仮定法②	応用
評価方法・成績評価基準				21	仮定法③	応用
①定期試験50% ②TOEIC公式テストスコア20% ③課題提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	さまざまな構文や表現①	応用
				23	さまざまな構文や表現②	応用
				24	さまざまな構文や表現③	応用
				25	接続詞・前置詞①	応用
				26	接続詞・前置詞②	応用
				27	重要名詞	応用
				28	重要形容詞	応用
				29	重要動詞	応用
				30	助動詞	応用
				31	重要フレーズ①	応用
実務経験教員の経歴				32	重要フレーズ②	応用
貿易会社での翻訳業務経験7年 大手英会話教室講師経験あり				33	重要フレーズ③	応用
				34	評価	まとめテスト

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	1	UNIT 1 Self Introduction	Self Introduction, Posture
学 年	4年	担当教員	Mark Palmer	2	UNIT 1 Self Introduction	Self Introduction, Posture
科 目 名	Business&Public Speaking II	時間数	68単位時間	3	UNIT 1 Self Introduction	Self Introduction, Posture
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	UNIT 2 Hometown	Overview, Eye Contact
使用テキスト名	Successful Presentations			5	UNIT 2 Hometown	Overview, Eye Contact
補助教材				6	UNIT 2 Hometown	Overview, Eye Contact
科目概要と科目到達目標 科目概要: グループで紹介したい商品を売り出すための戦略をたてプレゼンテーションを行う。 科目到達目標: 全員でグループになり、戦略をたて、プレゼンテーションを作成することで学生同志の競争力やモチベーションとなり、調べることで英語力が上達し、人前に立つことに慣れ、協調性も芽生える。				7	UNIT 3 Family	Details, Gesture
				8	UNIT 3 Family	Details, Gesture
				9	UNIT 3 Family	Details, Gesture
授業の進め方・学習方法・課題 テキストに沿ってパラグラフを理解しながら、場面状況に応じてプレゼンをする。 対面授業と遠隔授業の併用実施				10	UNIT 4 Interests	Conlusion, Stage Position
				11	UNIT 4 Interests	Conlusion, Stage Position
				12	UNIT 4 Interests	Conlusion, Stage Position
評価方法・成績評価基準 1分間のプレゼンテーションの試験30%、授業態度40%、出欠状況30% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				13	UNIT 5 Education	Introcutory Phrases, Projection
				14	UNIT 5 Education	Introcutory Phrases, Projection
				15	UNIT 5 Education	Introcutory Phrases, Projection
実務経験教員の経歴				16	Assesment	
				17	UNIT 6 Culture Shock	Signpost Expressons, Enunciation
				18	UNIT 6 Culture Shock	Signpost Expressons, Enunciation
				19	UNIT 6 Culture Shock	Signpost Expressons, Enunciation
				20	UNIT 7 Stereotypes	Faxts & Opinions, Intonation
				21	UNIT 7 Stereotypes	Faxts & Opinions, Intonation
				22	UNIT 7 Stereotypes	Faxts & Opinions, Intonation
				23	UNIT 8 Population	Supporting Evidence, Phrasing
				24	UNIT 8 Population	Supporting Evidence, Phrasing
				25	UNIT 8 Population	Supporting Evidence, Phrasing
				26	UNIT 9 Events	Informing, Anticipating Questions
				27	UNIT 9 Events	Informing, Anticipating Questions
				28	UNIT 9 Events	Informing, Anticipating Questions
				29	UNIT 10 Places	Describing, Understanding Questions
				30	UNIT 10 Places	Describing, Understanding Questions
				31	UNITE 11 Opinions	Persuading, Checking Understanding
				32	UNITE 11 Opinions	Persuading, Checking Understanding
				33	UNITE 11 Opinions	Persuading, Checking Understanding
				34	Assesment	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	1	UNIT 1 Recommending a tour	お客様にツアー旅行をすすめる
学 年	4年	担当教員	皆川・鈴木	2	UNIT 1 Recommending a tour	
科 目 名	English for Hospitality	時間数	68単位時間	3	UNIT 1 Recommending a tour	
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	UNIT 2 Taking a tour booking	バスツアーのブッキングを行う
使用テキスト名	English for Toursim Professionals			5	UNIT 2 Taking a tour booking	
補助教材				6	UNIT 2 Taking a tour booking	ツアーをエスコートする
科目概要と科目到達目標				7	UNIT 3 Escourting a tour	
科目概要: 教科書に沿ったダイアログ、ロールプレイを通じ、航空・ホテル・観光業に必要な英語力を養い、仕事で使える英語力を習得する。				8	UNIT 3 Escourting a tour	
授業の進め方・学習方法・課題				9	UNIT 3 Escourting a tour	海外からのお客様を出迎える
テキストに沿って、パラグラフを理解しながら、場面状況に応じてプレゼンをする。				10	UNIT 4 Welcoming international tourists	
対面授業と遠隔授業の併用実施				11	UNIT 4 Welcoming international tourists	
評価方法・成績評価基準				12	UNIT 4 Welcoming international tourists	航空チケットの予約
1分間のプレゼンテーションの試験30%、授業態度40%、出欠状況30%				13	UNIT 5 Taking an airline reservation	
【成績評価基準】				14	UNIT 5 Taking an airline reservation	フライト情報を提供する
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				15	UNIT 6 Giving flight information	
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				16	UNIT 6 Giving flight information	乗客のチェックインを手伝う
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				17	UNIT 7 Helping passengers check in	
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				18	UNIT 7 Helping passengers check in	ボーディングゲートにて働く
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				19	UNIT 8 Working at the boarding gate	
実務経験教員の経歴				20	UNIT 8 Working at the boarding gate	機内サービスを提供する
				21	UNIT 9 Offering in-flight services	
				22	UNIT 9 Offering in-flight services	CIQについて学ぶ
				23	UNIT 10 Giving CIQ information	
				24	UNIT 10 Giving CIQ information	部屋の予約を取る
				25	UNIT 11 Taking a room reservation	
				26	UNIT 11 Taking a room reservation	ゲストを迎える
				27	UNIT 12 Welcoming guests	
				28	UNIT 12 Welcoming guests	ゲストを手伝う
				29	UNIT 13 Helping guests	
				30	UNIT 13 Helping guests	クレーム対応について
				31	UNIT 14 Dealing with complaints	
				32	UNIT 14 Dealing with complaints	ゲストのお見送り
				33	UNIT 15 Sending guests off	
				34	Assesment	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	1	プレゼンテーションについて学ぶ	人が聞くプレゼンテーションとはを学ぶ
学年	4年	担当教員	鈴木晴奈	2	プレゼンテーションについて学ぶ	人が聞くプレゼンテーションとはを学ぶ
科目名	English Project	時間数	34単位時間	3	プレゼンテーションについて学ぶ	人が聞くプレゼンテーションとはを学ぶ
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	著名人から学ぶプレゼンテーション技法①	著名なプレゼンター動画を視聴し分析する
使用テキスト名	PPT			5	著名人から学ぶプレゼンテーション技法②	著名なプレゼンター動画を視聴し分析する
補助教材				6	著名人から学ぶプレゼンテーション技法③	著名なプレゼンター動画を視聴し分析する
				7	模擬練習①	与えられたテーマでプレゼンを行う
				8	模擬練習②	与えられたテーマでプレゼンを行う
科目概要と科目到達目標				9	フィードバック	与えられたテーマでプレゼンを行う
科目概要:学期末に行う学生自身の集大成発表にむけてプランニングとパフォーマンス練習を行う				10	ボディランゲージについて学ぶ	視線、声の強弱・緩急について学ぶ
				11	ボディランゲージについて学ぶ	視線、声の強弱・緩急について学ぶ
				12	ボディランゲージについて学ぶ	視線、声の強弱・緩急について学ぶ
				13	ジェスチャーについて学ぶ	体を使った表現を学ぶ
				14	ジェスチャーについて学ぶ	体を使った表現を学ぶ
授業の進め方・学習方法・課題				15	ジェスチャーについて学ぶ	体を使った表現を学ぶ
テキストなどの資料に沿って場面状況に応じてプレゼンをする。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	個人でのプレゼンテーションについて学ぶ	個人で行う場合のプレゼン方法を学ぶ
				17	個人でのプレゼンテーションについて学ぶ	個人で行う場合のプレゼン方法を学ぶ
				18	個人でのプレゼンテーションについて学ぶ	個人で行う場合のプレゼン方法を学ぶ
				19	ペアでのプレゼンテーションについて学ぶ	2人で行う際のプレゼン方法について学ぶ
				20	ペアでのプレゼンテーションについて学ぶ	2人で行う際のプレゼン方法について学ぶ
評価方法・成績評価基準				21	ペアでのプレゼンテーションについて学ぶ	2人で行う際のプレゼン方法について学ぶ
1分間のプレゼンテーションの試験30%、授業態度40%、出欠状況30% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	中間発表	ペアで模擬発表を試みる
				23	フィードバック	
				24	3人以上の複数でのプレゼンテーションについて学ぶ	3人以上のグループ発表について学ぶ
				25	3人以上の複数でのプレゼンテーションについて学ぶ	3人以上のグループ発表について学ぶ
				26	3人以上の複数でのプレゼンテーションについて学ぶ	3人以上のグループ発表について学ぶ
				27	3人以上の複数でのプレゼンテーションについて学ぶ	3人以上のグループ発表について学ぶ
				28	模擬発表	
				29	個人発表のブラッシュアップ	学期末の発表に向け個人準備を行う
				30	個人発表のブラッシュアップ	学期末の発表に向け個人準備を行う
				31	個人発表のブラッシュアップ	学期末の発表に向け個人準備を行う
実務経験教員の経歴				32	個人発表のブラッシュアップ	学期末の発表に向け個人準備を行う
				33	フィードバック	フィードバックと修正を行う
				34	フィードバック	フィードバックと修正を行う

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	1	SUCCESS P59～62企業訪問について①質問事項	就職活動の心構え
学年	4年	担当教員	矢後達夫	2	SUCCESS P63 企業訪問のお礼状について	お礼状の書き方
科目名	就職実務Ⅳ	時間数	34単位時間	3	最新最強の一般常識 総合問題	一般常識問題対策
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	個人面接練習 実践	面接時のマナーの理解
使用テキスト名	勝つための就職ガイドSUCCESS 最新最強の一般常識 最新最強のSPI			5	SUCCESS P66 就職試験のマナー	面接時のマナーの理解
補助教材				6	SUCCESS P67 控室でのマナー	面接時のマナーの理解
				7	SUCCESS P68～69 椅子の座り方、お辞儀の仕方	立ち居振舞について
				8	最新最強の一般常識 総合問題	一般常識問題対策
科目概要と科目到達目標				9	最新最強の一般常識 総合問題	一般常識問題対策
科目概要: 就職活動に必要な自己分析、書類作成、面接指導を行う				10	SUCCESS P70 面接試験対策 ①面接試験の形態	面接対策
科目到達目標: 就職試験に向けて、履歴書の内容を自分の言葉で自分らしく伝えられ、希望先企業への内定が目標。				11	個人面接 ①受験者1に対して面接官1人②受験者2に対して面接官2人	面接対策
				12	個人面接練習 実践	面接時のマナーの理解
				13	個人面接練習 実践	面接時のマナーの理解
				14	個人面接練習 実践	面接時のマナーの理解
授業の進め方・学習方法・課題				15	SUCCESS P71 面接試験対策 ①集団面接について	集団面接で大切なこと
就職試験の為に一般常識問題、SPI対策を中心に、模擬面接、グループディスカッションを行い、面接試験に備える。				16	SUCCESS P71 面接試験対策 ①グループディスカッション	グループディスカッション
対面授業と遠隔授業の併用実施				17	集団面接練習 実践	面接練習のコツ
				18	集団面接練習 実践	面接練習のコツ
				19	グループディスカッション 実践	模擬グループディスカッション
				20	グループディスカッション 実践	模擬グループディスカッション
評価方法・成績評価基準				21	グループディスカッション 実践	模擬グループディスカッション
①一般常識テスト30%②書類作成の理解度10%③出席率50%④面接対策10%				22	SUCCESS P79 圧迫面接の対処法	圧迫面接時の対処法とは
【成績評価基準】				23	スピーチの訓練	人前での1分間のスピーチのポイント
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	スピーチの実践演習	実践1分間のスピーチのポイント
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	適性検査について	業界によって違う検査の特徴
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	適性検査の種類と内容	業界によって違う検査の特徴
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	受験後の報告	入社承諾書、お礼状の書き方
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	最新最強の一般常識 非言語能力問題	SPI対策問題
				29	最新最強の一般常識 非言語能力問題	SPI対策問題
				30	最新最強の一般常識 非言語能力問題	SPI対策問題
				31	最新最強の一般常識 言語能力問題	SPI対策問題
実務経験教員の経歴				32	最新最強の一般常識 言語能力問題	SPI対策問題
				33	最新最強の一般常識 言語能力問題	SPI対策問題
				34	最新最強の一般常識 言語能力問題	SPI対策問題

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	1	オリエンテーション	授業の到達目標について理解する
学年	4年	担当教員	北村/坂上/矢後	2	地域にあるSDGs問題①	自分の身の回りにあるSDGsの問題を考える
科目名	国際理解Ⅳ	時間数	34単位時間	3	地域にあるSDGs問題②	積極的に取り組んでいる地域企業やグループを調査
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	地域にあるSDGs問題③	参加可能なイベントを調査
使用テキスト名				5	役割分担	役割分担を行い効率的な活動につなげる
補助教材				6	地域の問題を解決するための行動とは①	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
				7	地域の問題を解決するための行動とは②	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
				8	地域の問題を解決するための行動とは③	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
科目概要と科目到達目標				9	イベント企画案や広報案の提示①	企業や自治体への働き掛け
SDGsの「未来を変える目標」を理解し、実現するためにはどのような行動をすべきか考える。				10	イベント企画案や広報案の提示②	企業や自治体への働き掛け
ゴール11「住み続けられるまちづくりを」を全校の共通課題テーマに設定し、				11	活動①	1回目 SDGs問題解決のための活動
「社会」「経済」「環境」の3要素を調和させた問題解決策を提案する。				12	活動②	1回目 SDGs問題解決のための活動
また、日本だけではなく世界各地の取り組みも取り上げ、日本と比較しながら				13	活動③	1回目 SDGs問題解決のための活動
世界の未来について自分が起こせるアクションを考え、行動していく。				14	活動の振り返り①	活動の問題提起 振り返り
授業の進め方・学習方法・課題				15	活動の振り返り②次回への提案	改善点の提起
前期では、新潟県のゴール11「住みやすいまちづくり」について、持続可能にするためには				16	活動④	2回目 SDGs問題解決のための活動
どのような工夫や行動が必要かグループで議論する。問題解決のための企業連携を模索する。				17	活動⑤	2回目 SDGs問題解決のための活動
後期では、前期で出てきた活動案を企業・団体と共に実行に移し、振り返りを行う				18	活動⑥	2回目 SDGs問題解決のための活動
PDCAサイクルを年間を通して意識し、グループワークを行う。				19	活動の振り返り③	活動の問題提起 振り返り
評価方法・成績評価基準				20	活動の振り返り④次回への提案	改善点の提起
①発表内容40% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物20% ④学習意欲10%				21	活動⑦	3回目 SDGs問題解決のための活動
【成績評価基準】				22	活動⑧	3回目 SDGs問題解決のための活動
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				23	活動⑨	3回目 SDGs問題解決のための活動
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				24	活動の振り返り⑤	活動の問題提起 振り返り
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				25	活動の振り返り⑥	改善点の提起
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				26	活動内容の報告、発表準備①	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				27	活動内容の報告、発表準備②	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
				28	活動内容の報告、発表準備③	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
				29	活動内容の報告、発表準備④	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
				30	発表①	一年の活動報告
				31	発表振り返り	
実務経験教員の経歴				32	来年度への提言①	来年度の企画立案
				33	来年度への提言②	来年度の企画立案
				34	来年度への提言③	来年度の企画立案